

平成25年度  
教育に関する事務の管理及び執行の  
点検及び評価報告書

平成26年8月27日

長岡市教育委員会



# 教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について

## 1 点検及び評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、平成20年度から教育委員会は毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすために、平成25年度の長岡市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、長岡市教育委員会事務評価委員会の意見等を付して、報告するものです。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（関連条文抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検及び評価の方法

### (1) 点検及び評価の対象

点検及び評価は、長岡市教育委員会が執行している事務・事業のうち、「長岡市教育振興基本計画」（平成23年4月策定）に掲げた施策を中心に行いました。

### (2) 点検及び評価の手順

平成26年4月から8月にかけて、平成25年度に長岡市教育委員会において執行した事務について、次の手順で点検及び評価を行いました。

教育委員会事務局における点検の実施



事務評価委員会による教育委員及び事務局職員へのヒアリング



事務評価委員会による点検及び評価



教育委員会による評価報告書の決定



市議会への報告及び公表

## 長岡市教育委員会事務評価委員会 委員

委員長 結城 和廣（学校教育関係）

副委員長 高野 礼子（子育て支援関係）

委員 江口 由美（学校教育関係）

委員 青柳 良一（社会教育関係）

## 【目 次】

### I 教育委員会会議の開催及び審議状況等について

1	教育委員会4月定例会（平成25年4月26日開催）	1
2	教育委員会5月臨時会（平成25年5月16日開催）	1
3	教育委員会5月定例会（平成25年5月27日開催）	2
4	教育委員会6月定例会（平成25年6月28日開催）	2
5	教育委員会7月定例会（平成25年7月23日開催）	3
6	教育委員会8月定例会（平成25年8月28日開催）	3
7	教育委員会9月定例会（平成25年9月27日開催）	4
8	教育委員会10月定例会（平成25年10月29日開催）	4
9	教育委員会11月定例会（平成25年11月14日開催）	5
10	教育委員会12月定例会（平成25年12月2日開催）	5
11	教育委員会12月臨時会（平成25年12月19日開催）	6
12	教育委員会1月定例会（平成26年1月21日開催）	6
13	教育委員会2月定例会（平成26年2月13日開催）	6
14	教育委員会2月臨時会（平成26年2月25日開催）	7
15	教育委員会3月臨時会（平成26年3月13日開催）	7
16	教育委員会3月定例会（平成26年3月25日開催）	7
17	施設訪問	8
18	教育委員協議会	9
○	教育委員会会議等に関する点検・評価及び今後の取り組み等	11

### II 教育委員会における事務の点検・評価について

1	生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現	12
(1)	子育てを応援する環境の整備	12
○	市民協働による子育て支援の推進（子ども家庭課）	12
○	保育園施設等の整備（保育課）	13
○	児童館・児童クラブ等の整備・運営（子ども家庭課）	13
(2)	子育て支援サービスの拡充	14
○	家庭・地域の子育てを支援する相談体制の整備①（子ども家庭課）	14
○	家庭・地域の子育てを支援する相談体制の整備②（保育課）	15
○	保育サービスの充実（保育課）	15
○	子育てを支援するサービスの拡充①（子ども家庭課）	16
○	子育てを支援するサービスの拡充②（保育課）	17
(3)	健康づくりへの支援の強化・推進	17
○	母子保健の推進（子ども家庭課）	17

2	人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現	18
(1)	やる気や学ぶ意欲を引き出す教育の推進	18
	(熱中！感動！夢づくり教育の推進)	
○	どの子にもわかる授業の実現①（学校教育課）	18
○	どの子にもわかる授業の実現②（学務課）	19
○	地域の力、市民の力を生かした教育の推進①（学校教育課）	19
○	地域の力、市民の力を生かした教育の推進②（子ども家庭課）	20
○	熱中・感動体験の充実（学校教育課）	21
○	幼稚園教育・高校教育の振興と就学支援①（保育課）	21
○	幼稚園教育・高校教育の振興と就学支援②（学務課）	22
(2)	子どものサポート体制の充実	23
○	生徒指導の充実（学校教育課）	23
○	特別支援教育の充実（学校教育課）	24
(3)	青少年の健全育成活動の推進	25
○	交流・体験学習環境の充実（子ども家庭課）	25
○	非行防止活動の充実（子ども家庭課）	25
(4)	安全・安心な教育環境の整備	26
○	子どもの安全確保を図る体制の充実（学務課・学校教育課）	26
○	防災・防犯等の安全教育の充実（学校教育課）	27
○	学校施設における安全性の確保（教育施設課）	28
(5)	市民主体の生涯学習の推進	28
○	多様な学習機会の充実①（中央公民館）	28
○	多様な学習機会の充実②（中央図書館）	29
○	多様な学習機会の充実③（科学博物館）	29
○	生涯学習支援体制の整備①（中央公民館）	30
○	生涯学習支援体制の整備②（中央図書館）	30
○	生涯学習支援体制の整備③（科学博物館）	31
(6)	歴史的・文化的遺産の継承及び活用促進	31
○	歴史的・文化的遺産の継承と保存・管理（科学博物館）	32
○	歴史的・文化的遺産の活用（科学博物館）	32
●	教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について	33

## I 教育委員会会議の開催及び審議状況等について

平成 25 年度に教育委員会定例会を 12 回、臨時会を 4 回開催した。その内、11 回は教育委員会事務局以外の施設で開催し、50 件の議案を審議し、協議報告事項は 82 件であった。また、施設訪問を 10 回実施し、23 か所で授業（保育）参観・職員懇談・給食試食及び施設内視察を行った。さらに、教育委員協議会を 11 回開催した。

審議の結果は、以下のとおりである。

### 1 教育委員会 4 月定例会

○ 日 時 平成 25 年 4 月 26 日（金曜日）

午後 4 時から午後 5 時まで

○ 場 所 教育委員会会議室

○ 傍聴人 なし

○ 議 事（3 件）

議案第 26 号	専決処理について（職員人事について）	原案承認
議案第 27 号	長岡市就学支援委員会規則の廃止について	原案決定
議案第 28 号	附属機関委員の委嘱について	原案決定

○ 協議報告事項（8 件）

- ・平成 24 年度教育に関する事務の点検及び評価方針について
- ・ライオンズクラブからの AED 学習キットの贈呈について
- ・『長岡市子ども読書活動推進計画』について
- ・平成 25 年度長岡市成人式について
- ・ながおか子育てネット 2013『だいすき！おでかけ おやこ遊び場ガイド』の発行について
- ・平成 24 年度「次代の親育成事業」思春期向け連続講座の実施報告について
- ・平成 25 年度長岡市スポーツ振興事業計画について
- ・平成 24 年度 第 2 回長岡市スポーツ推進審議会会議報告

### 2 教育委員会 5 月臨時会

○ 日 時 平成 25 年 5 月 16 日（木曜日）

午前 11 時 30 分から午前 11 時 40 分まで

○ 場 所 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟 4 階 第一会議室

○ 傍聴人 なし

○ 議 事 教育長の任命について

○ 協議報告事項（2 件）

- ・5 月 17 日の文教福祉委員との懇談について
- ・西谷小学校統合に関する要望について

### 3 教育委員会 5 月定例会

- 日 時 平成 25 年 5 月 27 日（月曜日）  
午後 2 時 15 分から午後 3 時 25 分まで
- 場 所 黒条小学校 図書室
- 傍聴人 1 人
- 議 事（2 件）

議案第 29 号	長岡市柿が丘学園運営規程の一部改正について	原案決定
議案第 30 号	補正予算の要求について	原案決定

- 協議報告事項（7 件）
  - ・「西谷小学校統合に関する要望書」について
  - ・長岡市私立高等学校学費助成要綱の一部改正について
  - ・平成 25 年度学校・子どもかがやき塾夢企画事業について
  - ・平成 25 年度長岡市成人式について
  - ・平成 25 年度子どもの虐待防止啓発事業「怒鳴らない子育て講座」の実施について
  - ・子ども・子育て新制度の概要及び今後の主なスケジュールについて
  - ・第 3 回長岡藩主牧野家の至宝展「かしわ、雨龍、五間ばしご」について

### 4 教育委員会 6 月定例会

- 日 時 平成 25 年 6 月 28 日（金曜日）  
午後 2 時 15 分から午後 3 時 20 分まで
- 場 所 阪之上小学校 視聴覚室
- 傍聴人 2 人
- 議 事（3 件）

議案第 31 号	学校統合及び条例改正の申出について （長岡市立学校設置条例の一部改正）	原案決定
議案第 32 号	長岡市立学校管理運営に関する規則の一部改正について	原案決定
議案第 33 号	長岡市教育委員会事務決裁規程の一部改正について	原案決定

- 協議報告事項（8 件）
  - ・ 6 月議会における教育委員会関係の質問事項について
  - ・平成 25 年度「地域・子ども元気塾助成事業」について
  - ・第 1 回長岡市社会教育委員会、長岡市公民館運営審議会の会議報告について
  - ・「生誕 90 周年 山下清展」の開催について
  - ・「鈴木孝枝写真展 一越後路 40 年の眼差し」の開催について
  - ・白樺保育園の休園について
  - ・長岡市青少年問題協議会委員について
  - ・子宮頸がん予防ワクチン接種について



## 5 教育委員会 7 月定例会

- 日 時 平成 25 年 7 月 23 日（火曜日）  
午後 1 時 30 分から午後 3 時まで
- 場 所 大島小学校 会議室
- 傍聴人 1 人
- 議 事（2 件）

議案第 34 号	長岡市立学校管理運営に関する規則の一部改正について	原案決定
議案第 35 号	平成 26 年度使用教科用図書採択について	原案決定

- 協議報告事項（8 件）
  - ・西谷地区の子どもの教育を考える懇談会・会議報告
  - ・平成 25 年度 長岡市の児童生徒・保護者・教員意識調査の結果について
  - ・平成 24 年度 児童生徒の問題行動等について
  - ・「ながおかハイスクールガイダンス」の開催について
  - ・「アイスブレイクの会」の実施について
  - ・第 1 回長岡市水族博物館協議会 会議報告
  - ・大英博物館展示交流講演会「縄文/ J OMONへのまなざし」の開催について
  - ・特別展「枳倉式土器をさぐる」  
－発掘された縄文時代の大集落・枳倉遺跡Ⅱ－について

## 6 教育委員会 8 月定例会

- 日 時 平成 25 年 8 月 28 日（水曜日）  
午後 2 時 45 分から午後 4 時 50 分まで
- 場 所 中央公民館 401 教室
- 傍聴人 なし
- 議 事（5 件）

議案第 36 号	専決処理について（補正予算の要求について）	原案承認
議案第 37 号	平成 24 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について	原案決定
議案第 38 号	条例改正の申出について（長岡市児童館設置条例の一部改正）	原案決定
議案第 39 号	補正予算の要求について	原案決定
議案第 40 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について	被表彰候補者全員 適と決定

- 協議報告事項（9 件）
  - ・第 12 回 いきいき教育推進懇談会の実施報告について
  - ・平成 25 年度 第 1 回長岡市熱中！感動！夢づくり教育推進会議報告について

- ・平成 25 年度 第 1 回長岡市青少年問題協議会会議報告及び平成 25 年度長岡市青少年健全育成総合対策実施計画について
- ・平成 25 年度 長岡市成人式（8 月実施分）について
- ・附属機関会議報告について
  - 第 2 回 長岡市社会教育委員会、公民館運営審議会
  - 第 1 回 長岡市図書館協議会
  - 第 1 回 長岡市栃尾美術館協議会
- ・ながおかハイスクールガイダンスの実施報告について
- ・アイスブレイクの会の実施報告について

## 7 教育委員会 9 月定例会

- 日 時 平成 25 年 9 月 27 日（金曜日）  
午後 2 時 45 分から午後 4 時 15 分まで
- 場 所 上通小学校 多目的教室
- 傍聴人 2 人
- 議 事（2 件）

議案第 41 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について	被表彰候補者全員適と決定
議案第 42 号	附属機関委員の委嘱について	原案決定

- 協議報告事項（7 件）
  - ・ 9 月議会における教育委員会関係の質問事項について
  - ・ 教育委員会関係工事等の入札状況について
  - ・ 総合支援学校高等部の活動状況の報告
  - ・ 平成 25 年度 就学時等家庭教育講座の実施について
  - ・ 子育て関連新制度を踏まえた公立保育園の運営方法の検討経過について
  - ・ 中野俣保育園の休園について
  - ・ 第 1 回長岡市文化財保護審議会の会議報告について

## 8 教育委員会 10 月定例会

- 日 時 平成 25 年 10 月 29 日（火曜日）  
午後 1 時 30 分から午後 3 時まで
- 場 所 秋葉中学校 会議室
- 傍聴人 1 人
- 議 事（3 件）

議案第 43 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について	被表彰候補者を適と決定
議案第 44 号	長岡市児童館管理規則の一部改正について	原案決定

議案第 45 号	長岡市地域子育て支援センター事業実施要綱の一部改正について	原案決定
----------	-------------------------------	------

- 協議報告事項（6件）
  - ・平成 25 年度ポニー事業の実施報告について
  - ・家庭でワクワクお手伝いポスターコンクールの審査結果について
  - ・公立保育園の運営方法等に関する意見及び今後の方針について
  - ・平成 25 年度 第 2 回長岡市熱中！感動！夢づくり教育推進会議報告について
  - ・平成 25 年度 県下生物・岩石標本展示会、自然科学写真展示会の開催について
  - ・さいわいプラザへの教育委員会の移転について

## 9 教育委員会 11 月定例会

- 日 時 平成 25 年 11 月 14 日（木曜日）  
午後 1 時 30 分から午後 2 時 55 分まで
- 場 所 小国支所 3 階会議室
- 傍聴人 なし
- 議 事（3 件）

議案第 46 号	指定管理者指定の申出について	原案決定
議案第 47 号	補正予算の要求について	原案決定
議案第 48 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について	被表彰候補者適と決定

- 協議報告事項（3 件）
  - ・附属機関会議報告について  
第 1 回 長岡市スポーツ推進審議会  
第 2 回 長岡市水族博物館協議会 会議・視察
  - ・平成 26 年度当初予算における教育委員会の新規事業等について

## 10 教育委員会 12 月定例会

- 日 時 平成 25 年 12 月 2 日（月曜日）  
午前 9 時から午前 10 時 15 分まで
- 場 所 教育委員会会議室
- 傍聴人 なし
- 議 事（1 件）

議案第 49 号	平成 26 年度当初予算の要求について	原案決定
----------	---------------------	------

- 協議報告事項（3 件）
  - ・平成 25 年度 中学生夢さがし発見塾について
  - ・第 24 回 長岡市馬高・三十稲場遺跡整備活用委員会 会議報告について

- ・社会教育委員との意見交換について

#### 11 教育委員会 12 月臨時会

- 日 時 平成 25 年 12 月 19 日 (木曜日)  
午後 3 時から午後 3 時 25 分まで
- 場 所 まちなかキャンパス長岡 302 会議室
- 傍聴人 なし
- 議 事 (1 件)

議案第 50 号	平成 26 年度全国学力・学習状況調査の実施について	原案決定
----------	----------------------------	------

- 協議報告事項 なし

#### 12 教育委員会 1 月定例会

- 日 時 平成 26 年 1 月 21 日 (火曜日)  
午後 1 時 45 分から午後 2 時 55 分まで
- 場 所 和島小学校 音楽室
- 傍聴人 1 人
- 議 事 なし
- 協議報告事項 (8 件)

- ・「長岡市公立保育園民営化の基本的な考え方」の策定について  
(協議事項)
- ・12 月議会における教育委員会関係の質問事項について
- ・学校図書館活性化のための取組状況について
- ・平成 25 年度 文部科学大臣優秀教員表彰について
- ・平成 25 年度 長岡市の子どもたちの体力について
- ・上組第二児童クラブの開設について
- ・附属機関会議報告について  
第 3 回長岡市社会教育委員会、公民館運営審議会  
第 2 回長岡市栃尾美術館協議会

#### 13 教育委員会 2 月定例会

- 日 時 平成 26 年 2 月 13 日 (木曜日)  
午後 1 時 30 分から午後 3 時 5 分まで
- 場 所 才津小学校 メモリアルルーム
- 傍聴人 6 人
- 議 事 (7 件)

議案第 1 号	平成 26 年度 学校教育の努力点について	原案決定
議案第 2 号	長岡市子ども・子育て会議の設置及び条例の制定の申出について (長岡市子ども・子育て会議条例)	原案決定
議案第 3 号	条例改正の申出について (長岡市社会教育委員の設置、定数及び任期等に関する条例の一部改正)	原案決定

議案第4号	条例廃止の申出について（長岡市青少年育成センター設置条例の廃止）	原案決定
議案第5号	条例改正の申出について（長岡市公民館条例の一部改正）	原案決定
議案第6号	条例改正の申出について（長岡市科学博物館条例の一部改正）	原案決定
議案第7号	補正予算の要求について（3月補正予算）	原案決定

○ 協議報告事項（5件）

- ・平成26年度長岡市教育委員会当初予算の概要について
- ・平成25年度第3回長岡市熱中！感動！夢づくり教育推進会議報告について
- ・平成26年度「熱中！感動！夢づくり教育」の概要について
- ・附属機関会議報告について  
第2回長岡市青少年問題協議会  
第2回長岡市文化財保護審議会

14 教育委員会2月臨時会

- 日 時 平成26年2月25日（火曜日）  
午後3時30分から午後4時5分まで
- 場 所 教育委員会会議室
- 傍聴人 なし
- 議 事（1件）

議案第8号	校長、教頭の人事異動の内申について	原案決定
-------	-------------------	------

- 協議報告事項 なし

15 教育委員会3月臨時会

- 日 時 平成26年3月13日（木曜日）  
午後1時10分から午後1時15分まで
- 場 所 教育委員会会議室
- 傍聴人 なし
- 議 事（1件）

議案第9号	職員人事について	原案決定
-------	----------	------

- 協議報告事項 なし

16 教育委員会3月定例会

- 日 時 平成26年3月25日（火曜日）  
午後1時30分から午後3時50分まで
- 場 所 教育委員会会議室
- 傍聴人 なし
- 議 事（16件）

議案第 10 号	長岡市学校施設長期保全・再生計画（スクールフェニックスプラン）基本方針の策定について	原案決定
議案第 11 号	長岡市いじめ防止基本方針について	原案決定
議案第 12 号	平成 26 年度 長岡市社会教育の基本方針について	原案決定
議案第 13 号	長岡市教育委員会組織規則等の一部改正について	原案決定
議案第 14 号	長岡市教育委員会事務決裁規程の一部改正について	原案決定
議案第 15 号	長岡市子ども・子育て会議条例施行規則の制定について	原案決定
議案第 16 号	長岡市児童交流会館条例施行規則の一部改正について	原案決定
議案第 17 号	長岡市青少年育成センター設置条例施行規則の廃止について	原案決定
議案第 18 号	長岡市青少年育成センター運営規程の制定について	原案決定
議案第 19 号	長岡市公民館条例施行規則の一部改正について	原案決定
議案第 20 号	長岡市教育委員会非常勤嘱託員の任用等に関する要綱の一部改正について	原案決定
議案第 21 号	長岡市不登校児童生徒適応指導教室設置要綱の一部改正について	原案決定
議案第 22 号	長岡市産前産後家庭生活応援事業実施要綱の一部改正について	原案決定
議案第 23 号	長岡市歴史的資料の保存及び利用に関する要綱の一部改正について	原案決定
議案第 24 号	長岡市子ども発達相談室運営規程の一部改正について	原案決定
議案第 25 号	附属機関委員の委嘱について	原案決定

○ 協議報告事項（8件）

- ・ 3月議会における教育委員会関係の質問事項について
- ・ 平成 25 年度 第 4 回長岡市熱中！感動！夢づくり教育推進会議報告について
- ・ 長岡市子育て応援プラン推進協議会 平成 24・25 年度の主な協議内容について
- ・ 附属機関会議報告について
  - 長岡市公立学校通学区域審議会
  - 第 4 回長岡市社会教育委員会、公民館運営審議会
  - 第 2 回長岡市図書館協議会
  - 第 2 回長岡市水族博物館協議会
  - 第 2 回長岡市スポーツ推進審議会

17 施設訪問

○ 23 か所を訪問

【内訳】小学校 16、中学校 4、保育園 2、その他施設 1

※学校名脇の（ ）は各学校の懇談会に参加した評議員及び PTA の人数

(1) 平成 25 年 5 月 27 日（月曜日）

黒条小学校、西中学校

- (2) 平成 25 年 6 月 28 日（金曜日）  
東部保育園、西部保育園、阪之上小学校、表町小学校
- (3) 平成 25 年 7 月 23 日（火曜日）  
栖吉小学校、大島小学校
- (4) 平成 25 年 8 月 28 日（水曜日）  
関原小学校、越路小学校
- (5) 平成 25 年 9 月 27 日（金曜日）  
上通小学校（5 人）、日吉小学校（6 人）
- (6) 平成 25 年 10 月 29 日（火曜日）  
秋葉中学校（5 人）、刈谷田中学校、栃尾美術館
- (7) 平成 25 年 11 月 14 日（木曜日）  
上小国小学校（1 人）、小国中学校（3 人）
- (8) 平成 25 年 12 月 2 日（月曜日）  
栃尾南小学校（5 人）、東谷小学校
- (9) 平成 26 年 1 月 21 日（火曜日）  
和島小学校、寺泊小学校（6 人）
- (10) 平成 26 年 2 月 13 日（木曜日）  
才津小学校（5 人）、四郎丸小学校

## 18 教育委員協議会

- 11 回開催
- (1) 平成 25 年 5 月 16 日（木曜日） なごみ保育園、和光幼稚園  
・認定こども園の視察
- (2) 平成 25 年 5 月 27 日（月曜日） 黒条小学校  
・子育て関連新制度を踏まえた公立保育園の運営方法等の検討について
- (3) 平成 25 年 6 月 27 日（木曜日） 西谷小学校  
・小学校統合の要望が出されたことを踏まえた学校訪問
- (4) 平成 25 年 8 月 28 日（水曜日） 中央公民館 401 教室  
・長岡市の特別支援教育の現状について
- (5) 平成 25 年 9 月 27 日（金曜日） 上通小学校  
・いじめ防止対策推進法について
- (6) 平成 25 年 11 月 14 日（木曜日） 小国支所 3 階会議室  
・小国地域の教育環境について
- (7) 平成 25 年 12 月 2 日（月曜日） 教育委員会会議室  
・土曜授業の実施について  
・全国学力・学習状況調査の結果の公表について
- (8) 平成 25 年 12 月 19 日（木曜日） まちなかキャンパス長岡 302 会議室  
・今後の地方教育行政の在り方について～中央教育審議会答申案～

- (9) 平成 26 年 1 月 21 日（火曜日） 和島小学校
  - ・熱中！感動！夢づくり教育 次の 10 年のあり方について
- (10) 平成 26 年 2 月 13 日（木曜日） 才津小学校
  - ・長岡市学校施設長期保全・再生計画「スクールフェニックスプラン（仮称）」基本方針について
- (11) 平成 26 年 3 月 13 日（木曜日）
  - ・長岡市いじめ防止基本方針（案）について



### ＜教育委員会会議等に関する点検・評価及び今後の取り組み等＞

- 長岡市教育委員会会議規則に基づき、定例会及び臨時会の会議を適正に開催した。
- より開かれた教育委員会を目指すため、教育委員会定例会等を各地域の施設や学校などの市民に身近な場所で開催することに努めた。平成 25 年度は黒条小学校、アオーレ長岡、阪之上小学校、大島小学校、中央公民館、上通小学校、秋葉中学校、小国支所、まちなかキャンパス長岡、和島小学校、才津小学校の 11 か所で定例会・臨時会を開催した。
- 会議において、教育や子育て支援に関する新制度の概要や児童生徒の現況を速やかに報告するなど、教育委員と教育委員会事務局の情報共有を進め、審議の活性化に努めた。会議では、議案及び協議報告事項に対し、各委員から積極的な発言があり、十分な審議がなされた。
- 学校開催のときは教職員や学校評議員、PTA 役員にも傍聴してもらうよう、積極的に働きかけた。学校現場や地域へ教育委員の意見を直接伝える機会としている。
- 会議録はホームページで公開しており、協議報告事項や学校訪問の感想なども詳しく掲載し、会議の透明性を高めている。
- 教育委員の意見を教育行政により反映させるため、教育委員協議会を開催した。協議会では、テーマ別に活発な意見交換を行い、各課の施策立案や日常の業務に反映した。
- 各委員が成人式や表彰式などの教育委員会行事、各課の実施事業、学校の周年行事に積極的に出席したり、研修会に参加したりした。
- 学校等施設への訪問では、現場の状況を把握することに努めた。また、学校評議員や PTA 役員などの市民と教育委員会が直接意見交換のできる場を設定した。訪問後、教育委員から意見等が示され、各課の施策に生かされている。
- 今後も会議の活性化や運営の工夫に努めるとともに、より開かれた教育委員会の実現を目指していく。

## II 教育委員会における事務の点検・評価について

平成23年4月に策定した「長岡市教育振興基本計画」に定めた施策を中心に点検・評価を行った。

具体的には、各施策の柱ごとの「基本施策」について、平成25年度における目標値に対する進捗状況を点検するとともに、個別の施策について点検・評価を実施した。

点検・評価の結果は、以下のとおりである。

### 1 生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現

#### (1) 子育てを応援する環境の整備

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成24年度 達成値	平成25年度 達成値
子育てを応援する世代を越えた交流や子育て支援の輪を広げる。 【子育ての駅の利用登録世帯数（親子、サポーターなど）】	10,292 世帯 (平成21年度)	20,000 世帯 (平成27年度)	17,492 世帯	19,000 世帯
児童クラブを必要とする保護者が利用できる環境を整える。 【児童クラブ数】	40 か所 (平成22年度)	43 か所 (平成27年度)	41 か所	42 か所

#### ■ 施策の内容

##### 【市民協働による子育て支援の推進（担当：子ども家庭課）】

##### <25年度の取り組み>

- 子育ての駅の運営にあたっては、利用者による「子育ての駅運営委員会」を設置するとともに、様々な年代の市民から「子育ての駅サポーター」として協力を得るなど、市民参加型の施設運営を基本とした。
- 子育て世代の支援として、市民主体の編集委員会を組織し、子育て支援団体の情報をまとめた『ながおか子育てネット（にこにこひろがる）』を編集・発行した。
- NPO法人と協働して、中学3年生を対象に「次代の親育成事業」を実施し、乳幼児や親子とのふれあい等を通じて、命の大切さと子育てや家族関係について学ぶ機会を設けた。

##### <成果及び今後の取り組み等>

- 平成25年度の「子育ての駅」来場者数は、263,011人であった。（ちびっこ広場 38,957人、てくてく 154,824人、ぐんぐん 59,684人、すくすく 9,546人）今後とも市民参加型で施設を運営する。

- 親子サークル支援を継続し、身近な地域でのネットワークづくりを応援する。
- 今後も継続して、中学3年生を対象に「次代の親育成事業」を実施する。

### 【保育園施設等の整備（担当：保育課）】

#### ＜25年度の取り組み＞

- 来迎寺保育園の大規模改造工事が完了した。
- 私立保育園の施設整備に対して財政的支援を行った。
  - ① みどり保育園の大規模改修
  - ② みしま中央保育園の改修
  - ③ 蔵王保育園の施設整備
- 私立幼稚園の施設整備に対して財政的支援を行った。  
東光幼稚園の改築

#### ＜成果及び今後の取り組み等＞

- 老朽施設等を整備し、安全な保育環境を整えることができた。
- 今後も適切な整備を行い、安心・安全な保育環境の整備を推進していく。

### 【児童館・児童クラブ等の整備・運営（担当：子ども家庭課）】

#### ＜25年度の取り組み＞

- 児童に健全な遊びを与えながら、その健康を増進するとともに、豊かな情操の形成を目指し、児童館を地域における青少年健全育成の拠点とするよう運営した。
- 児童クラブの適正な定員管理及び大規模児童クラブの解消に向けて、児童クラブの分割及び環境改善に向けた取り組みを行った。

#### ＜成果及び今後の取り組み等＞

- 上組児童クラブの登録児童の増加に伴い、上組第二児童クラブを開設した。  
(平成26年1月7日)
- 日吉児童クラブを鳥越集落開発センターから日吉小学校内に移設した。  
(平成26年1月6日)
- 栖吉コミュニティセンターの改築工事が終了し、臨時的に栖吉小学校内で実施していた児童館・児童クラブを新しいコミュニティセンターに移転した。
- 子どもの安全や健全育成の観点から、児童館・児童クラブの施設等の整備を行った。

(2) 子育て支援サービスの拡充

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 24 年度 達成 値	平成 25 年度 達成 値
気軽に子育ての不安や悩みを相談できる環境を充実させる。 【親子が集う場所に相談員が出向いて実施した相談回数】	166 回 (平成 21 年度)	200 回 (平成 27 年度)	189 回	251 回
保育サービスに対する満足度を高める。	75.0% (平成 20 年度)	85.0% (平成 26 年度)	—	84.1% (平成 25 年度)

■施策の内容

【家庭・地域の子育てを支援する相談体制の整備①(担当:子ども家庭課)】

<25年度の取り組み>

- 児童虐待の防止等を目的に地域と協働した子ども家庭支援事業を実施し、地域で気軽に子育ての不安や悩みを相談できる環境づくりを推進した。
- ① 家庭児童相談員等が子育ての駅や地域子育て支援センター等で、家庭児童相談室等のPR、グループミーティング、個別相談を行った。(173回)
- ② 家庭児童相談員等が各地区児童館及び各地区民生委員・児童委員協議会や乳幼児健診等の会場に出向き、地域の見守り体制周知や育児等に関する相談に応じた。(41回)
- ③ 保育園・幼稚園に出向き、児童虐待防止の啓発活動を行うとともに、子どもとの関わり方についての研修会を行った。(20回)
- ④ 子ども家庭センター等で、子育てで生じるストレスとの上手なつきあい方について、子育て中の母親を対象に講座を実施した。(17回)
- 長岡市要保護児童対策地域協議会の関係機関が連携して、保護等が必要な子ども等に対し、適切な活動を実施した。
  - ・虐待に関する相談 180件
  - ・虐待以外に関する相談 124件

<成果及び今後の取り組み等>

- 相談員が子育ての駅や地域子育て支援センター等への訪問を行うことで、気軽に子育ての不安や悩みを相談できる機会を提供することができた。
- 家庭の抱える様々な問題の多様化・複雑化に適切に対応していくため、各地域の関係団体との連携協働によるネットワークづくりを推進しながら、今後も子ども家庭支援事業を充実させていく。

## 【家庭・地域の子育てを支援する相談体制の整備②（担当：保育課）】

### ＜25年度の取り組み＞

- 配慮を要する児童に早期に気づき、就学前から就学後まで継続した計画のもとに継続した保護者・園支援を実施した。
- ① 園から提出された「相談依頼票」に基づき、園を訪問し支援するとともに、必要に応じ保護者面談や専門機関との連携を図った。
- ② 就学支援の充実を図った。
  - ・「すこやかファイル」作成の支援と小学校への引き継ぎ支援
  - ・「就学支援シート」作成の支援
  - ・「個別の指導計画」作成の支援
  - ・専門相談員（教育委員会が依頼する小中学校の教員）とすこやか応援チームとの連携を図り就学支援を行った。
- ③ 保護者の子育てに関する相談を実施した。
- ④ 障害児の保育園入園に関する相談を実施した。
- ⑤ 発達障害に関する理解と支援のために、保育士・幼稚園教諭・保健師・関係職員を対象に研修会を計画、実施した。

### ＜成果及び今後の取り組み等＞

- こどもすこやか応援チームがかかわったケース
  - ・支援を行った施設数 69 施設
  - ・支援を行った児童数 185 人
  - ・すこやかファイル作成数 64 人
  - ・就学支援シート作成数 11 人
  - ・個別の指導計画 37 人
- 成果として、就学に関する支援が定着し、小学校と園との連携が強化された。
- すこやかファイルが、将来にわたって途切れのない継続した支援のためのツールであることが小学校にも浸透したことで、ファイル引き継ぎがスムーズになり、保護者の学校生活への不安が軽減された。今後も「すこやかファイル」の活用を関係機関と進めていきたい。
- 保護者及び就学先の学級担任を対象に、すこやかファイルの実態調査を実施し、活用実態を把握した。
- 保護者の意見をもとに、より活用しやすい「すこやかファイル」の改訂に取り組む。

## 【保育サービスの充実（担当：保育課）】

### ＜25年度の取り組み＞

- 保護者の子育てと就労との両立を支援するために、各種特別保育を実施した。
- ① 休日保育 4 か所 876 人

② 病児・病後児保育事業 5か所 1,867人

○給食時などにおける食物アレルギー対応として、公私立保育園・幼稚園の全園児を対象とした食物アレルギーの状況を調査するとともに、保護者と連携し、医師の指示に基づき、可能な範囲で除去・代替食を実施した。

○保育士、調理師、行政関係職員を対象にした研修会を開催し、食物アレルギーの概要と緊急時の対応について正しい知識の普及に努め、アドレナリン自己注射薬（エピペン）の実践訓練も実施した。

① 全体研修会（医師による講演）3回 1,180人（学校職員等含む）

② 地域研修会（看護師・養護教諭による講演）10回 589人

③ 園内研修（園長・看護師による講義）26回

### <成果及び今後の取り組み等>

○各種特別保育事業を実施することで、より安心して子育てができる環境を整備することができた。

○子育ての主体は家庭であり、親と子が共に育つことを支援するという視点を大切にしながら、今後も保育需要に対する適切なサービスの提供に努める。

○食物アレルギーへの適切な対応策を普及するため、平成26年度も引き続き各種研修会を開催する。

## 【子育てを支援するサービスの拡充①（担当：子ども家庭課）】

### <25年度の取り組み>

○仕事と育児を両立するため、児童館・児童クラブ及びファミリー・サポート・センターを運営した。

児童館 40か所・年間利用者 延べ134,279人

児童クラブ 42か所・年間利用者 延べ309,970人

ファミリー・サポート・センターのサポート活動件数 6,810件

○育児疲れの解消や保護者の急病・短時間勤務への対応等、多様化する保育ニーズに対応するため、2か所の子育ての駅で一時保育事業を実施した。

まちなか保育園（子育ての駅ちびっこ広場）年間利用者数 1,662人

せんしゅう保育園（子育ての駅てくてく）年間利用者数 1,692人

○発達が気になる子どもやその家族を支援するため、児童福祉法に基づく通所支援の利用に関する相談やコーディネートを実施した。

児童発達支援事業所 3か所・178人

放課後等デイサービス事業所 3か所・54人

※人数は通所受給者証交付数（平成26年3月31日現在）

※事業所は長岡市内のみ

### <成果及び今後の取り組み等>

○ファミリー・サポート・センター登録会員の拡大を図るため、事業のPR及び会員養成講習会を実施する。（平成25年度登録会員数1,212人）

○多様化する保育ニーズに対応するため、今後も一時保育事業を継続して実施する。

○今後も児童発達支援事業所や学校など関係機関と連携し、家族に寄り添った支援を行っていく。

### 【子育てを支援するサービスの拡充②（担当：保育課）】

#### ＜25年度の取り組み＞

○保護者の就労形態の多様化や病気の際の保育需要に対応するため、一時保育事業を継続して実施した。

34か所 4,270人 ※まちなか保育園、せんしゅう保育園を除く。

○子育て中の保護者に保育園を開放し、育児相談や子育てに関する情報提供等を行う子育て支援センター事業を継続実施した。

33か所 94,126人 ※保育園併設型のみ。

#### ＜成果及び今後の取り組み等＞

○一時保育事業や子育て支援センター事業の充実を図ったことで、より安心して子育てができる環境を整備することができた。

○子育てに悩んでいる親や、交流する機会を望んでいる親が集える場となるように、さらにPRを行っていく。

○保育園への入園児童の低年齢化が進む中で、子育て支援センター等のあり方について検討する。

### (3) 健康づくりへの支援の強化・推進

#### 【母子保健の推進（担当：子ども家庭課）】

#### ＜25年度の取り組み＞

○健康相談や家庭訪問等の母子保健活動を実施した。

こんにちは赤ちゃん訪問事業 2,099件（実施率96.3%）

赤ちゃん相談会 2,132人（参加率97.2%）

パパママサークル事業 21回実施 626人参加（父親の参加301人）

子育て健康相談（電話相談） 1,669件（来庁相談） 521件

母子保健推進員活動

妊婦、赤ちゃん訪問活動 4,136件

子育て支援活動 383回 親子3,946組、妊婦3人、その他272人

#### ＜成果及び今後の取り組み等＞

○妊婦、乳幼児の健診や相談会の受診率は高く、母子の健康の確保及び相談ができる機会となっている。核家族や仕事を持ちながら子育てする等、環境の変化や価値観の多様化に伴うきめ細かな対応とともに関係機関と連携した支援を充実させる。

○地域の身近な母子保健推進員等と協力して、子育て情報交換会や学習会、地域での見守りや声かけなどを実施できたことで、子育ての不安が解消さ

れ虐待予防につながっている。早い時期から身近で声をかけ、子育てのストレスに対処できる支援を充実させる。

## 2 人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現

### (1) やる気や学ぶ意欲を引き出す教育の推進

#### (熱中！感動！夢づくり教育の推進)

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 24 年度 達成 値	平成 25 年度 達成 値
芸術家と子どもたちが気軽に交流しながら、生の芸術にふれる機会を提供する。 【ふれ愛芸術体験事業の開催校数】	15 校 (平成 22 年度)	20 校 (平成 27 年度)	21 校	23 校
地域に開かれた学校にする取り組みを、各学校で実施する。 【保護者や地域住民が、授業又は学校行事に参加する年間の平均日数】	14 日 (平成 22 年度)	20 日 (平成 27 年度)	24 日	35 日

#### ■施策の内容

#### 【どの子にもわかる授業の実現①（担当：学校教育課）】

##### <25 年度の取り組み>

○学習指導、生徒指導等の教育活動の充実を図るため、教育活動の補助を必要とする学校に教育補助員 44 人を配置した。

重点校 中学校 1 校 (2 人)

小学校 26 校 (26 人) 中学校 16 校 (16 人)

○外国語を通して、国際社会に通用する表現力やコミュニケーション力を身に付けさせるため、英語指導助手 (ALT) と英語指導員 (JTL) を全小・中学校に派遣した。

小学校 低学年 4 時間 中学年 4～8 時間 高学年 12 時間

中学校 全学年 2 週間に 1 回程度

○長岡の教育が目指す「米百俵の精神」をもとにした人づくりや、教員の資質・指導力の向上を図るために、研修講座、要請研修、教育研究論文の募集、教員サポート錬成塾を実施した。

##### <成果及び今後の取り組み等>

○学習指導や生徒指導等において特に支援が必要な学校に対して、教育補助



員を配置したことにより、個に応じたきめ細かな対応や教師が児童生徒に向き合う時間がより確保され、学習支援の充実や子ども間のトラブル等の未然防止に効果が見られた。

- ALTとJTLが小学校を訪問することで、児童が文化の異なる人と積極的に関わろうとし、外国語活動の授業を活発に展開できた。また、小学校現場でも英語劇を上演できるよう、英語指導室が独自に蓄積したシナリオなどをまとめた副教材「劇はなじらね」を作成した。
- 教育センターでは、研修講座を158講座実施し、延べ3,661人が受講した。各学校からの依頼に基づく要請研修を139回実施した。教職員の資質・指導力の向上、分かる授業の実現等、学校課題の解決に関わることができた。
- 教育研究論文が157編応募され、25編を入選、うち6編を優秀論文として選考した。また、入選論文を掲載した論文集を作成して配付した。各学校、教職員の今後の実践に生かせるものである。
- 教員サポート錬成塾ベーシックコース（基礎・基本）に40人、クリエイティブコース（応用・発展）に47人の申込みがあり、嘱託指導主事がマンツーマン形態で指導した。受講生が課題意識を高め、また自信を深めていた。

## 【どの子にもわかる授業の実現②（担当：学務課）】

### ＜25年度の取り組み＞

- 学校統合を望む地域からの要望書が提出されたことを受け、統合に向けた準備を行った。

### ＜成果及び今後の取り組み等＞

- 今後とも学校規模適正化に向けた基本的な考え方にに基づき、地域からの要望を尊重するとともに、地域関係者への十分な説明を行い、着実な学校規模適正化を進める。

## 【地域の力、市民の力を生かした教育の推進①（担当：学校教育課）】

### ＜25年度の取り組み＞

- 開かれた学校づくりを推進するため、中学校区単位の地域連携フォーラムを実施した。また、第12回いきいき教育推進懇談会ではパネルディスカッションを行った。
  - ・地域連携フォーラム（27中学校区全部でそれぞれ実施）
  - ・いきいき教育推進懇談会（8月10日 長岡リリックホールコンサートホール 保護者、教職員等約250人が参加） テーマ「学校、家庭、地域の役割と効果的な連携の具体策を探る～『長岡市の児童生徒・保護者・教員意識調査』結果から～」
- 市民力・地域力を教育に生かすため、地域の団体、NPO等が自主的に行う子どもを対象とする活動（自然体験活動、伝統文化の継承、環境美化活動、スポーツ・レクリエーション活動等）に対し、地域・子ども元気塾事

業として助成金を交付した。助成団体は、公開審査会を経て決定した。

・自然・科学・文化・芸術分野

2団体（申請4団体） 助成総額 400,000円

・スポーツ・レクリエーション分野

6団体（申請6団体） 助成総額 1,200,000円

○中学生が長岡市内及び近隣の高等学校等の特色を学んで進路選択に役立てることができるよう、高等学校等が一堂に会して自校の教育を説明し、学習内容を実際に体験できる「ながおかハイスクールガイダンス」を新規事業として実施した。アオーレ長岡を会場としたことにより、多数の中学生が参加し大好評であった。

#### <成果及び今後の取り組み等>

○地域連携フォーラムは、各中学校区の実情に応じたテーマ・内容を設定することにより、幼・保、小・中学校の保護者・教職員及び地域の教育等関係者が参加し、連携意識を高めることができた。また、いきいき教育推進懇談会は、7年ぶりに行った「長岡市の児童生徒・保護者・教員意識調査」の結果をもとにパネルディスカッションを行い、学校、家庭、地域それぞれの立場で教育を考えたり連携のあり方を考えたりする場とすることができた。

○地域・子ども元気塾事業では、公開審査会において申請事業の内容等を確認し、公平な審査を行うことができた。ただし、助成開始から8年が経過し、団体の新規申請が減少しており、審査方法等見直しを行う必要がある。

・地域・子ども元気塾事業

8団体（申請10団体） 助成総額 1,600,000円

○ながおかハイスクールガイダンスでは、中学生等市民約1,500人が参加し、進路選択の一助とするという初期の目的が達成できた。

### 【地域の力、市民の力を生かした教育の推進②（担当：子ども家庭課）】

#### <25年度の取り組み>

○「家庭で子どもに手伝いをさせよう運動」として、役割や手伝いを継続的に実施することの有用性や必要性を広めるため、「家庭でワクワクお手伝い通信」を発行するほか参加型取組として「家庭でワクワクお手伝いポスターコンクール」を実施した。

○小学校就学前の子どもを持つすべての親が集まる機会を活用し、共通に知っておいてもらいたい家庭教育等に関する基本的な事項を伝えるため、指導主事等が講師となって「就学時家庭教育講座」を実施した。

#### <成果及び今後の取り組み等>

○「家庭でワクワクお手伝い通信」は年3回発行し、すべての小学校、中学校、保育園、幼稚園の児童・生徒の保護者に配付した。定期的に発行することで、家庭での手伝いの有用性を継続的に周知することができた。また、

「家庭でワクワクお手伝いポスターコンクール」は小学校4～6年生を対象に開催し、合計37点の出品があった。今後は対象を広げ、より多くの児童・生徒が家庭でのお手伝いを実施するきっかけづくりとしたい。

- 「就学時家庭教育講座」は希望する学校すべてで実施した(全60校中56校)。教育委員会として行うことで、家庭教育について、現場からは伝えづらいことなども含めながら保護者に伝えることができた。

## 【熱中・感動体験の充実（担当：学校教育課）】

### ＜25年度の取り組み＞

- 子どもが夢中になる、感動する、夢につながる活動を充実させるために、熱中・感動体験活動（全49事業：前年度より1事業減）を4つに体系化して実施した。

・個性・能力を伸ばす事業	21事業
・感性・情操を豊かにする事業	8事業
・地域・自然を愛する心を育む事業	14事業
・社会の一員としての意識を高める事業	6事業

### ＜成果及び今後の取り組み等＞

- 「JHSながおか夢フェスタ」を11月24日にアオーレ長岡アリーナで開催した。昨年度より2校多い10校約420人の中学生が参加した。創作劇&ダンスやロボットデモンストレーションが加わり、より多彩な発表となった。参加した中学生、保護者を含め約1,300人が来場し、文科系部活動（合唱、和太鼓、吹奏楽等）や日頃の学習の成果を知ってもらうことができた。
- 「ながおか未来塾」を1月25日、26日にアオーレ長岡、長岡グランドホテル、東泉閣を会場に開催した。36名の参加があり、長岡市長、商工会議所会頭、東京大学宇宙線研究所所長の「志」講話やワークショップを通して、志について具体的に考える研修となった。

## 【幼稚園教育・高校教育の振興と就学支援①（担当：保育課）】

### ＜25年度の取り組み＞

- 私立幼稚園に在園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、各世帯の所得状況に応じて保育料及び入園料の一部を国と市で補助した。また、補助金受給者のうち満3歳児を除く園児の保護者に対し、市単独で上乘せして私立幼稚園就園費助成金を支給した。

- ① 私立幼稚園就園奨励費補助金（入園児に対する支給割合82.44%）

支給対象者 1,469人 補助金総額 149,120千円

- ② 被災幼児就園支援事業補助金（東日本大震災により、長岡市に避難している幼児）

支給対象者 6人 補助金総額 597千円

- ③ 私立幼稚園就園費助成金（市単独助成分）

支給対象者 1,255 人 助成金総額 4,991 千円

○長岡市内の私立幼稚園に対し、幼稚園教育の振興や経営の健全化を図るため、次のとおり運営費等の補助を行った。

① 運営費等補助 17 園 補助金総額 13,802 千円

② 預かり保育推進事業費補助 14 園 補助金総額 2,100 千円

③ 障害児教育費補助 3 園 補助金総額 588 千円

#### <成果及び今後の取り組み等>

○財政的支援を行い、幼稚園教育の振興及び障害児教育の充実等が図られた。

○今後も私立幼稚園教育の振興を図るとともに、保護者の経済的負担軽減のため支援を実施していく。

### 【幼稚園教育・高校教育の振興と就学支援②（担当：学務課）】

#### <25年度の取り組み>

○小・中学校への就学に際し、保護者の経済的負担を軽減するため、所得状況に応じて学用品費等の支援を行った。

① 就学援助費

支給総額 331,776 千円

② 特別支援教育就学奨励費

支給総額 14,032 千円

○長岡市内の私立高等学校3校に対し、運営費を補助した。

補助金総額 16,955 千円

○私立高校就学者の保護者の経済的負担を軽減するため、学費の助成を行った。

助成対象人数 延べ426人

助成金総額 8,735 千円

#### <成果及び今後の取り組み等>

○今後も小・中学校就学における保護者の経済的負担軽減及び私立高等学校の健全経営のための支援を継続していく。

○私立高校就学者の保護者に対する経済的負担軽減については、国・県の制度もあることから、助成方法について引き続き検討する。

(2) 子どものサポート体制の充実

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 24 年度 達成 値	平成 25 年度 達成 値
問題行動、いじめ・不登校、児童虐待などについて、関係機関などの連携による予防・対応を推進する。 【不登校児童生徒発生率】	小学校 0.26% 中学校 2.19% (平成 21 年度)	0.20% 2.00% (平成 27 年度)	小学校 0.18% 中学校 2.29%	小学校 0.34% 中学校 2.54%
一人ひとりの進路実現に向けて総合支援学校高等部生徒の現場実習受入れ事業所数を増やす。 【総合支援学校高等部生徒の現場実習受入れ事業所数】	29 か所 (平成 22 年度)	40 か所 (平成 27 年度)	54 か所	63 か所

■ 施策の内容

【生徒指導の充実（担当：学校教育課）】

<25 年度の取り組み>

- 「長岡市いじめ防止基本方針」を策定し、「子どもふれあいサポート事業」をいじめの防止等及び対応のための組織として位置付けた。
- 「子どもふれあいサポート事業」において、いじめをはじめとする問題行動・不登校・児童虐待など、子どもをめぐる様々な問題への対応を実施した。
  - ① サポートチームの活動 42 ケースに対応
    - ・ サポートチーム会議（複数機関との連携） 20 件
    - ・ サポートチーム会議（要対協との連携） 22 件
  - ② 子どもサポートコール相談件数 114 件
  - ③ 適応指導教室(長岡フレンドリールーム、栃尾やまびこルーム、寺泊はまちゃん教室、おぐに日だまりルーム)の設置及び訪問相談員(2人)の派遣
  - ④ 心ふれあい相談員の学校への派遣 22 人を 33 校へ派遣
- いじめ、不登校、対人関係や学習・行動の問題、就学や家庭における養育の問題、心身に障害のある児童生徒の指導などについて対応を図るために、面接相談、電話相談、学校支援訪問を実施した。

・面接相談 2,318 回 ・電話相談 1,028 回 ・学校支援訪問 283 件

### <成果及び今後の取り組み等>

- いじめ防止対策推進法の施行を受けて、長岡市教育委員会で「長岡市いじめ防止基本方針」を策定した。いじめをはじめとする生徒指導上の諸問題に対する長岡市の基本姿勢を示すとともに、全市立学校の管理職に説明を行った。
- 子どもふれあいサポート事業をフットワークよく行うため、複数関係機関との連携を図る支援（サポートチーム会議）のほかに、単独関係機関との連携により対応するケースをサポートチーム活動として実施した。これらにより、困難な事例に対して、各関係機関がより専門的な立場でかかわり、明確に役割を分担することで、迅速で適切な対応が取れるようになった。
- 適応指導教室では児童生徒の状況に応じて、学習以外にも体験活動や人間関係づくり等の多様な活動を行い、児童生徒の適応を促す援助ができた。さらに各学校との連携を深め、適応教室への通級や訪問相談につなげたい。
- 長岡市においては、いじめ・不登校・暴力行為等は、すべて全国や県の発生率を下回っている。しかし、これらの問題に対しては「未然防止、早期発見、即時対応」の3つの視点から今後も継続的に取り組み、保護者、学校、保育園等の教職員と連携して児童生徒への質の高い対応に努めていく。

### 【特別支援教育の充実（担当：学校教育課）】

#### <25年度の取り組み>

- 特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援を充実させるため、介助員等の人的支援や特別支援学級の新増設等環境整備の充実を図った。
  - ① 総合支援学校への介助員・作業支援員・看護師の配置  
介助員 18 人、作業支援員 7 人、看護師 2 人、代替看護師 2 人
  - ② 特別支援学級への介助員の配置                    46 校   76 人
  - ③ 通常学級への特別支援介助員の配置            23 校   24 人
  - ④ 小・中学校への特別支援教育アシスタントの配置   8 校   8 人
  - ⑤ 特別支援学級の新増設                            小学校 9 学級   中学校 6 学級
  - ⑥ 発達障害通級指導教室の新設                    1 教室
- 幼保小中が連携して保護者との合意を重視した就学相談を行うため、各中学校区に 1 名から 3 名の専門相談員を依頼し、専門相談員が中心となった就学支援の充実を図った。
  - ① 専門相談員の依頼   81 人
  - ② 特別支援学級等への就学に関する相談件数   278 件（前年度 300 件）

#### <成果及び今後の取り組み等>

- 介助員等の配置や特別支援学級の新増設により、特性に応じたきめ細かな指導・支援を行い、自己肯定感を高めるとともに、基本的な生活習慣の定着、コミュニケーションや社会性の向上等の成果が見られた。

○通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあることから、特別支援学級未設置校への設置や発達通級指導教室未設置地域の解消に向けて、計画的に進めていくよう努める。

○総合支援学校では、高等部新教育課程をスタートさせ、卒業後の進路を見据え、就労に結びつくよう新しい作業学習を導入した。外部指導者による指導を取り入れながら、就労に必要な技術や態度の育成を図っている。教育、福祉、医療、労働をつなぐ拠点として総合支援室を設置し、専門の嘱託員2名が教育活動との密接な連携を図りながら、関係機関と協力して卒業生を含めた児童生徒の生活支援・就労支援の充実に努めている。

### (3) 青少年の健全育成活動の推進

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 24 年度 達成 値	平成 25 年度 達成 値
青少年たちが、身近な地域の伝統芸能や歴史、文化、自然などにふれあう機会を増やす。 【子どもふるさとふれあい広場事業申請件数】	145 件 (平成 22 年度)	170 件 (平成 27 年度)	150 件	149 件
街頭育成活動に参加する育成員の参加率を高める。	77.1% (平成 21 年度)	80.0% (平成 27 年度)	81.2%	85.2%

#### ■ 施策の内容

##### 【交流・体験学習環境の充実（担当：子ども家庭課）】

###### <25 年度の取り組み>

○地域で組織されている青少年健全育成連絡協議会などが、子どもを対象とした活動の機会を提供する事業や地域社会で子どもを育てる機運を高める事業を活発に行えるよう呼びかけ、支援した。

###### <成果及び今後の取り組み等>

○子どもふるさとふれあい広場事業の申請件数が 24 年度とほぼ横ばいであった。今後も長岡市全体の活動がより活発になるよう、さらに積極的に呼びかけ、活動の推進を図る。

##### 【非行防止活動の充実（担当：子ども家庭課）】

###### <25 年度の取り組み>

○青少年育成員が、街頭において、喫煙や怠業、交通マナーなど青少年の不

良行為等に対して声かけを行い、反省を促した。  
 活動実施回数 329 回、参加育成員延べ人数 1,092 人、  
 問題行動等声かけ人数 219 人

○子どもから大人へ移行する思春期において心身のバランスを崩しやすい青少年を対象に相談を受けた。

面接 36 件、電話 74 件、メール 190 件

#### <成果及び今後の取り組み等>

○街頭で目立った問題行動をとる青少年が年々減少し、声かけ件数も減り続ける中、青少年の状況が把握しにくくなっている。そのため、目に見える不良行為にとどまらず、広く声かけを行い、内部に悩みを抱える青少年等への指導助言を行いながら、子どもたちの状況把握に努めた。

○小・中・高校生の保護者や学校長が活動を体験する機会を設け、家庭や地域、学校での青少年健全育成や社会全体で子どもたちを見守ることの重要性の再認識につなげることができた。

○相談内容は、複雑化・多様化しており、問題解決には長期的・専門的な対応が求められるケースもある。必要に応じて、関係機関と連携しながら、サポート体制の一層の充実に努める。

#### (4) 安全・安心な教育環境の整備

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 24 年度 達成 値	平成 25 年度 達成 値
「地域の子どもは地域で守る」ことのできる体制を維持し、取り組みを充実させる。 【小学校区単位の「セーフティーパトロール」団体への登録者数】	6,000 人 (平成 22 年度)	7,200 人 (平成 27 年度)	7,899 人	8,008 人
市立小・中・総合支援学校の校舎・屋内運動場の耐震化率を高める。	77.0% (平成 21 年度)	100.0% (平成 27 年度)	91.9%	94.5%

#### ■施策の内容

【子どもの安全確保を図る体制の充実（担当：学務課・学校教育課）】

##### <25 年度の取り組み>

○登下校時の通学路及び校区における児童生徒の安全確保を図るため、セー



フティーパトロール事業等を推進したほか、学校や警察から報告を受けた不審者情報を小・中学校及び関係機関に提供した。

- ① 警察・道路管理者・教育委員会・学校（地域）合同の通学路合同一斉点検の実施 全小学校区（小学校 60 校区）
  - ② 通学路点検の実施 全中学校区（中学校 27 校区）
  - ③ 地域住民によるセーフティーパトロール団体数 60 団体
  - ④ 学校教育課が小・中学校、関係機関へ提供した不審者情報 19 件
- 給食時などにおける児童生徒の食物アレルギー対応として、全児童生徒を対象に食物アレルギー調査を実施するとともに、医師の指示や保護者との面談内容に基づき、除去・代替食を実施した。
- 教育委員会主催の食物アレルギー研修会を年 3 回実施した。また、全ての学校において、食物アレルギーに関する基本的な理解や緊急時の対応について、校内研修を実施した。

#### <成果及び今後の取り組み等>

- 通学路の合同一斉点検により、通学路のハード面の安全対策が大きく進んだ。
- 市内 60 小学校区全区でセーフティーパトロール団体等による子どもの安全を守る活動が実施された。
- 校内研修等を通して、教職員が食物アレルギーに関する理解を深めた。
- 今後も引き続き、教職員を対象とした研修を行い、食物アレルギーに関する理解を深め、学校給食における誤食を防ぐ体制づくりと緊急時において迅速かつ適切な対応がとれるようにする。

### 【防災・防犯等の安全教育の充実（担当：学校教育課）】

#### <25 年度の取り組み>

- 平成 23 年度に作成した防災教育用パンフレット「自然災害に学ぶ」及び指導資料集を活用し、すべての学校で防災教育に関わる授業を 1 時間以上実施した。
- その他の取り組み
- ・各学校で作成した通学路安全マップの改善と活用 全小中学校
  - ・一工夫した実効性のある避難訓練の実施 全小中総合支援学校
  - ・不審者侵入等を想定した防犯訓練、防犯教室の実施 全小中総合支援学校

#### <成果及び今後の取り組み等>

- 小学校の避難訓練では、保護者への引渡しもしくは引渡しを想定した訓練を 52 校で実施した。
- 中学校では、昼休みなどに予告なしの避難訓練を実施したり、障害物などにより避難しづらい状況をつくり、実効性のある避難訓練を実施した。
- 今後、地域と連携した避難訓練の実施と、地域の防災訓練への積極的な参

加を促していく。

**【学校施設における安全性の確保（担当：教育施設課）】**

**<25年度の取り組み>**

○小学校6棟、中学校3棟の耐震化工事を実施した。

**<成果及び今後の取り組み等>**

○平成25年度は前年度より2.6ポイントの上昇となり、94.5%になった。平成27年度の耐震化率100%に向けて今後も計画的に事業を推進していく。

**(5) 市民主体の生涯学習の推進**

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成24年度 達成値	平成25年度 達成値
生涯学習によるまちづくりを推進するため、生涯学習をする人を増やす。 【1年間に生涯学習をした人の割合】	35.9% (平成22年度)	45.0% (平成27年度)	—	24.9%
生涯学習を通じて身に付けた知識や技能などを家庭・職場以外で役立たせる人を増やす。 【生涯学習による成果を地域などで活用した人の割合】	13.0% (平成22年度)	25.0% (平成27年度)	—	8.7%
市民が市内の図書館を利用する機会を増やす。 【市民1人当たり年間図書館資料貸出数】	6.4点(冊) (平成21年度)	6.7点(冊) (平成27年度)	6.09点 (冊)	6.23点 (冊)

**■施策の内容**

**【多様な学習機会の充実①（担当：中央公民館）】**

**<25年度の取り組み>**

○「親も育つ子育てセミナー」を開講した。幼児及び小・中・高校生をもつ親が、さまざまな教育問題と向き合いながら、どう対応するかを学ぶ講座として3コース23講座を開催、延べ879人の受講があった。

- 「公民館趣味の教室」を開講した。焼物や書道、俳句など14講座26コースを開講、706名の受講生が年間を通して学習した。
- 「生涯学習推進大学」第5期の後期を開講、15回の講座を開催した。各地域のコミュニティセンターや公民館などで、地域のリーダーとなる人材を養成した。

#### ＜成果及び今後の取り組み等＞

- 「親も育つ子育てセミナー」の内容について、ほぼすべての参加者から好評の声をいただいている。今後、男性の参加者を増やすべく、検討、取り組みを続けていく。
- 「公民館趣味の教室」の受講生は高齢者が主である。受講生の減少から教室の統合などを行っているが、利用者のニーズ、教室のあり方について、今後検討を進めていく必要がある。
- 「生涯学習推進大学」では、第5期の58人が修了した。終了後も修了生同士が集まって活動を続けており、人的ネットワークは年々、広がっている。「生涯学習推進大学」は全国的に見ても先進的な取り組みであるので、引き続き生涯学習分野の人材育成の柱として、取り組みを進めていく。

### 【多様な学習機会の充実②（担当：中央図書館）】

#### ＜25年度の取り組み＞

- 文化講座、講演会、美術センター自主企画展、文書資料室の各種講座など年間を通じて多彩な行事を行った。新規にビジネス支援サービスとして、セミナーの開催や関連コーナーの拡充を図った。
- 「長岡市子ども読書活動推進計画」策定後の施策状況や二次計画の策定について関係課と検討した。
- 年間を通して、栃尾美術館で企画展・館所蔵品展、企画展関連イベント、造形講座・ワークショップなどを行った。

#### ＜成果及び今後の取り組み等＞

- 「生誕90周年記念山下清展」では23日間で8,540人の入場があった。今後も各年代層に配慮し魅力ある行事を企画したい。
- 関連講座「はじめての読み聞かせ」「楽しいブックトーク」を実施。文科省の補助金事業によりボランティア養成・派遣を行った。今後も関係課と連携し読書普及活動を継続して行いたい。
- 栃尾美術館の観覧者数は9,287人。このほかイベント・講座・ワークショップには1,989人の参加があった。引き続き、親しみやすく誰もが楽しめる地域の美術館づくりに努めたい。

### 【多様な学習機会の充実③（担当：科学博物館）】

#### ＜25年度の取り組み＞

- 年間を通じて、科学博物館や馬高縄文館などで、市民を対象とした普及活

動を実施した。

- 小・中学校等に学芸員を派遣する事業を企画し、多くの小・中学校等から活用された。

#### ＜成果及び今後の取り組み等＞

- 体験学習会の機会を増やし、市民が博物館を利用する機会を増やす。
- 学校や子ども会などに体験学習等の事業を紹介する。
- 特別展や講演会を開催し、市民が博物館に足を運びやすくする。

### 【生涯学習支援体制の整備①（担当：中央公民館）】

#### ＜25年度の取り組み＞

- 生涯学習人材バンク「まちの先生」を引き続き開設し、歴史やスポーツ、パソコンなど幅広く生涯学習を支援できる方を登録し、ニーズに合わせた紹介を行った。（平成25年度末現在の登録数318人・団体）
- 「生涯学習ガイドブック～団体・サークル編～」への登録や紹介を引き続き行った。（平成25年度末現在の登録数743団体）
- 「市政出前講座」では、市政全般のトピックスについて、市民の知りたいことを市の担当者が出向いて説明している。

#### ＜成果及び今後の取り組み等＞

- 「まちの先生」の利用を高めるため、PR方法を工夫していく。
- 「生涯学習ガイドブック～団体・サークル編～」への人材登録や情報提供を進めていく。
- 「市政出前講座」は80講座を開設。昨年に引き続き、原子力安全対策についての需要が特に高かった。今後も市民生活を取り巻く情勢に即した講座内容の見直しや新規開設などを図っていく。

### 【生涯学習支援体制の整備②（担当：中央図書館）】

#### ＜25年度の取り組み＞

- ホームページ上での検索機能の強化や新着情報やテーマコーナーの紹介等の更新頻度を上げ、Webサービスの充実を図った。
- 貸出時にレシート（当日貸出図書のタイトルと返却期限が記載）を配布し、返却時確認や読書履歴に使用するなど利便性向上を図った。

#### ＜成果及び今後の取り組み等＞

- Web予約件数は年136,827件となり前年比5%の増加を記録した。今後も利用者の利便性の向上を図り、貸出冊数の増加を目指したい。
- 市内全館の貸出冊数合計が昨年度比101.2%とわずかに増加した。引き続き、選書や広報など使いやすい図書館を目指す取り組みを行いたい。

**【生涯学習支援体制の整備③（担当：科学博物館）】**

**<25年度の取り組み>**

- 馬高・三十稲場遺跡において伏屋式の円形竪穴式住居 1 棟を復元整備した。
- 科学博物館は、平成 26 年 4 月 29 日にリニューアルオープンした。平成 25 年度は、展示室・収蔵庫部分の建築・電気・機械設備の工事及び、展示物の製作及び映像・音声資料の編集・資料等の移転を行った。

**<成果及び今後の取り組み等>**

- 馬高・三十稲場遺跡において、既存のものとタイプが異なる復元住居を追加整備したことで、当時のムラの景観復元が促進され、縄文文化の発信基地としての機能を強化することができた。今後も復元住居等の整備を進めることで、縄文時代の景観を現代に再現していきたい。
- リニューアルオープンした科学博物館の企画展示及び普及活動などを定期的に実施し、生涯学習の拠点施設のひとつとして活用を図っていく。

**(6) 歴史的・文化的遺産の継承及び活用促進**

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 24 年度 達成 値	平成 25 年度 達成 値
歴史的価値が高い建造物の実態把握・保存を進め、教育や地域振興に活用できる機会を増やす。 【市内に所在する歴史的価値が高い建造物の国登録文化財登録件数】	21 件 (平成 21 年度)	26 件 (平成 27 年度)	28 件	31 件
地域に伝わる民俗芸能の適切な保存に努め、後世に伝承される機会を増やす。 【記録保存用にビデオ収録した民俗芸能の演目数】	186 演目 (平成 21 年度)	201 演目 (平成 27 年度)	186 演目	190 演目

## ■施策の内容

### 【歴史的・文化的遺産の継承と保存・管理（担当：科学博物館）】

#### <25年度の取り組み>

○新たな登録有形文化財が登録され、合計 31 件になった。また、長岡造形大学へ委託し、歴史的建造物の詳細調査を行った。

#### <成果及び今後の取り組み等>

○長岡市内の歴史的建造物悉皆調査により、各地域に所在する物権の基礎データが得られた。今後、主要な建物についての詳細調査を行い、そのデータを基に明確な基準を持って登録有形文化財に推薦していく。

### 【歴史的・文化的遺産の活用（担当：科学博物館）】

#### <25年度の取り組み>

○郷土民俗芸能公演会の開催を通して、多くの市民に郷土民俗芸能を公開し、その魅力をアピールした。

#### <成果及び今後の取り組み等>

○郷土民俗芸能を公開したことで、多くの市民にその魅力をアピールすることができた。

○今後は、過去に撮りためられた民俗芸能の記録を公開しやすい形式に変換し、市民が活用できるようにする。また、合併前に撮影された民俗芸能の記録の集約を行う。

平成 26 年 8 月 11 日

長岡市教育委員会

委員長 大橋 岑生 様

長岡市教育委員会事務評価委員会

委員長 結 城 和 廣

副委員長 高 野 礼 子

委 員 江 口 由 美

委 員 青 柳 良 一

## 教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について

平成 25 年度に執行された長岡市教育委員会の会議、施設訪問、事務事業の内容及びその点検結果について、教育委員並びに事務局職員からヒアリングを行い、長岡市教育委員会事務評価委員会として点検、評価を行った。

当委員会の点検、評価結果については以下のとおりである。

## ●全体を通しての意見

○長岡市教育委員会における事務の管理及び執行については、課題解決に向け、焦点化した施策を評価改善しながら着実に進め、目標達成が視野に入っている項目が多く、概ね評価できる進捗状況である。

なお、教育は目標を数値では測れない側面もあるため、施策の実施状況と設定目標の関係性に留意していくことが重要である。施策の数値目標の達成見通しが立たない項目については、情報の分析や施策の改善など、掘り下げた取り組みが必要である。

○教育委員と事務局のコミュニケーション、連携がよくとれており、双方が一体となって、多岐にわたる事業を企画・推進している。施設訪問に同行することで学校現場における授業づくりへの取り組み、研究活動の充実ぶりを確認できた。

今後は、市の部局間や地域の関係団体等との横の連携強化がますます重要になってくる。その一例として特別支援教育については、福祉分野と教育分野の連携の一層の推進が求められる。現状の取り組みを土台に、次の段階の連携について検討を進めてほしい。

○開かれた教育委員会の具現に向け、市民目線やニーズを大切にしながら事業が進められており評価できる。

子どもの健やかな成長には多様な教育の視点が必要なことから、市民力を生かした施策の充実のため、今後は更なる地域の人材の掘り起こしに努めてもらいたい。

## ●各施策についての意見

### I 教育委員会会議の開催及び審議状況等について

教育委員会・学校・家庭地域の3者の連携を深めようと積極的に地域に出向き、地域の応援団である学校評議員などの参加を得て、定例会と学校・施設訪問を併せて実施している。これは、市民目線や現場の様子を大事にした良い取り組みである。教員や地域の方々との意見交換によって、教育委員が現場の課題や特色をつかむことができるほか、開かれた教育委員会というあり方が市民にも伝わる点はとても評価できる。

今後は3者のパイプを太くするための広報を工夫・継続し、教育委員会の活動を理解し協力する市民を増やす必要がある。

また、教育委員協議会を設け、教育に関する事務の執行状況に対する理解をさらに深め、委員が果たす機能を高めている。学び、行動する教育委員の姿勢がうかがえるものであり、今後も充実した委員会審議のために教育委員協議会の継続を望む。



## Ⅱ 教育委員会における事務の点検・評価について

### 1 生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現

#### (1) 子育てを応援する環境の整備

子どもの数が減少する中、子育ての駅の来場者数とともに登録世帯数も年々増加傾向にある。子育ての駅を充実させ、併せてサポーター人口も増やしていく市民参加型の施設運営の取り組みは評価できる。

また、中学生が乳幼児と触れ合い、母親から直接出産や育児の話聞く「次代の親育成事業」は文字どおり市民協働の事業であり、期待される取り組みである。今後もできるだけ多くの学校で実施できるよう取り組んでほしい。

#### (2) 子育て支援サービスの拡充

子育てに関する多様なニーズに着実に応えられる総合的な支援体制が整えられてきており、市民ボランティアなど支援の層を厚くすることに取り組んでいることも評価できる。

保育、子育て支援サービスについては、市民の満足度を常に意識していく必要がある。

「すこやかファイル」、「就学支援シート」、「個別指導計画」の活用について、保護者と教員の評価のずれが問題であり、それを解消していく取り組みが必要である。「すこやかファイル」については、高校進学以降にも使えるファイルを目指してほしい。例えば、児童生徒本人の好み・要望を記入する欄を設けてはどうか。本人参加は個人の支援計画作成の重要な柱である。

食物アレルギーについては充実した研修を行っているが、今後も除去食等の対応が必要な子どもは増加することが考えられる。研修によって食物アレルギーへの理解を深めると同時に、各施設で対応マニュアルを作成し、定期的な実務研修を継続するなど、適切な対応に努めてほしい。

#### (3) 健康づくりへの支援の強化・推進

母子保健活動における相談や訪問活動などの積極的な子育ての不安解消の取り組みが、虐待予防につながっている。児童虐待による不幸な出来事を未然に防止するチェック機能としても働くよう万全を期してほしい。

今後も母子保健推進員の活動をしっかり支援するとともに、子育て関係に携わる団体と横の連携がスムーズにできるよう、積極的に働きかけてほしい。

### 2 人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現

#### (1) やる気や学ぶ意欲を引き出す教育の推進

##### (熱中！感動！夢づくり教育の推進)

教員の資質・指導力向上が魅力ある授業の実現の近道であり、重層的に用

意された研修の数々がもたらしている効果は評価でき、これは意識調査の集計分析からもうかがい知ることができる。

25年度児童生徒・保護者・教員意識調査によれば、学校へ行くのが「とても楽しい」と答えた児童生徒が前回調査より10ポイント増加し、特に中学校ではその理由として「授業が楽しい」という回答が倍近い割合を示している。各学校の取り組みの成果であることに加え、教育センターの要請研修や充実した研修講座がバックアップしている成果であろう。

また、熱中・感動体験活動など、教室を飛び出し、質の高い体験をすることによって得られるものは大きい。

「ながおかハイスクールガイダンス」は進路選択や高校の教育活動の理解につながる、とても良い事業と考える。さらに、幼稚園や高校教育における就学支援の取り組みは充実しており、経済的負担の軽減となっており評価できる。

一方、課題に正対した目標を設定し、具体的な施策を実施すべきである。児童生徒や保護者・教員を対象とした意識調査の集計・分析がなされた項目の中から選別して、達成目標や施策、具体的な取り組みとの文脈を検討し、指標化する必要があるのではないかと考える。

また、地域・子ども元気塾事業は、学校の管理職や学校評議員などが掘り起こしをするといった、申請待ちの姿勢ではなく、教育委員会の方から探すような積極性を期待したい。

## (2) 子どものサポート体制の充実

生徒指導上の多様な問題に積極的に対処する体制が整えられ、ていねいな取り組みが進められ、一定の成果が得られている点は評価できる。

ユニバーサルデザイン化された授業（視覚の補助を活用するなどの誰にでもわかりやすい授業）など、共通理解を深めて進められる教育の成果を見ることができた。

また、「長岡市いじめ防止基本方針」を策定し、教育委員会、学校及び市の姿勢を具体的に示したことは評価できる。いじめや不登校の児童生徒及び家族は、将来にわたって大きな不利益を被ることがある。それだけに数値やその数値変化の背景にある要因や特徴を読み解き、踏み込んだ予防や対応指導ができるような流れをつくってもらいたい。

一方、介助員や特別支援介助員、特別支援教育アシスタントが各学校に配置され人的支援の充実が図られている。今後も一層の充実を望む。

県内初の事業として20年度からスタートした「子どもすこやか応援事業」については、着実に成果をあげており評価できる。

### (3) 青少年の健全育成活動の推進

青少年育成員に保護者や教員を任命したり、関係機関との連携を密に行うなど、家庭、学校、地域が連携しながら社会全体で見守る体制を構築し、対応していることは評価できる。

非行防止活動については、メールでの相談を入り口に、多様な相談に応じるなど、時代の変化に対応した取り組みが行われている。

青少年の健全育成活動については、教育委員会だけでなく全市的な取り組みも必要であると考えられることから、横の連携を意識して進めてほしい。

### (4) 安全・安心な教育環境の整備

セーフティーパトロールの登録者数が目標値をはるかに超えている。地域の子どもの安全・安心に大きく貢献するとともに、登録者にとっても生きる張り合いとなっている点が非常に優れている。

さらに、中越大震災後に作成した手引きを改訂し、授業に直結する指導資料を加えて、実効性のある防災教育ができるようにしたこと、学校の耐震化率が進んでいることは評価できる。

食物アレルギーは、今後も増加すると考えられる。そのため、食物アレルギーのある児童生徒を把握する際の調査を確実に実施し、適切な対応に努めてほしい。

### (5) 市民主体の生涯学習の推進

学んだ人がその後に支援する側になっていく、循環型の環境が各地域でできると市民自身が進める生涯学習が実現することとなり、それを目指す取り組みの方向性は評価できる。

さらに、さいわいプラザの開設により、生涯学習の拠点としての機能が発揮される期待が高まる。駐車場も広く訪れやすくなるため、これを機会にイベントを増やすなど市民の学習の場を広げてほしい。

市内各所に点在する施設、展示物がより積極的に生涯学習に活用されるために、そこで学べるプランの提案や支援ボランティアネットワークなどのソフトの取り組みを進める必要がある。施設の成果は利用者数だけでは判断できないが、まず来てもらうことで伝えられることも多い。さいわいプラザへの移転・リニューアルオープンという好機を逃さず地域への積極的な普及活動を行うことで、新たな利用者の拡大につながると考えられる。

また、団塊の世代が65歳を超える時代に入っており、その人たちにどう参加してもらうかの戦略も必要である。

**(6) 歴史的・文化的遺産の継承及び活用促進**

登録有形文化財への登録数や郷土民俗芸能の発表機会が増えており、それらを保存・管理・活用することにも力点が置かれており評価できる。

また、中野俣小学校の児童による「新保広大寺」のような園児・児童・生徒が伝承にかかわるものは、積極的に発信していくことも検討すべきである。